

## 著書（共著・分担執筆）

1. 瀬川朗. (2020). 第2章 家庭科という教科のはじまり. 河村美穂（編）, MINERVA はじめて学ぶ教科教育 8 初等家庭科教育（pp. 13-22）, 京都市: ミネルヴァ書房.
2. 瀬川朗. (2021). 第4章 第4節 家庭科の評価法／第8節 家庭科の教師としての資質や能力. 石崎和宏・中村和世（編）, 新・教職課程演習第15巻 初等生活科教育, 初等音楽科教育, 初等図画工作科教育, 初等家庭科教育, 初等体育科教育, 初等総合的な学習の時間（pp. 160-163, 176-179）, 東京: 協同出版株式会社.
3. 瀬川朗. (2021). 「Q11 生活上の問題を解決する学習における評価規準の作成と評価の留意点について述べなさい」「Q12 体験的な学習における評価規準の作成と評価の留意点について述べなさい」. 宮崎明世・岩田昌太郎（編）, 新・教職課程演習第21巻 中等音楽科教育, 中等美術科教育, 中等家庭科教育, 中等技術分野教育, 中等保健・体育科教育, 高校情報科教育, 中等総合的な学習の時間／探究の時間（pp. 114-117）, 東京: 協同出版株式会社.
4. 瀬川朗. (2023). 第4章 教科担任制と家庭科／第6章 第2節 食生活 1. 栄養・献立と調理（小学校）. 中西雪夫・貴志倫子・小林久美（編）, 小中学校家庭科の授業をつくる：5年間を見通すための理論・実践・基礎知識（pp. 36-39, 82-85）, 東京: 学術図書出版社.

## 学術論文

1. 瀬川朗. (2015). 1960年代の日教組における家庭科教科論の変容 —外崎光広らによる「中央試案」に対する批判から—. 日本家庭科教育学会誌, 第58巻第3号, pp. 153-163. (査読有)
2. 瀬川朗・河村美穂. (2016). 日本家庭科教育学会誌における教師研究の展開 —家庭科教師に関する調査研究を中心に—. 日本家庭科教育学会誌, 第59巻第3号, pp. 144-155. (査読有)
3. 竹内孝治・瀬川朗. (2021). 中学校数学科検定教科書『日常の数学』（1950年）における単元「私たちの住居」の成立とその背景. 愛知産業大学造形学研究所報, 第17号, pp. 11-20. (査読有)
4. 竹内孝治・瀬川朗. (2021). 戦後教育改革期の数学科教科書における「住居」についての単元の変遷—大日本図書『日常の数学』『中学の数学』および『中学新数学』を資料として—. 愛知産業大学造形学研究所報, 第17号, pp. 21-30. (査読有)
5. 瀬川朗・上田瑞紀. (2022). 里親広報啓発活動における一般市民を対象とした工夫 —鹿児島県における事例—. 鹿児島大学教育学部研究紀要 教育科学編, 第73巻, pp. 45-73.
6. 瀬川朗. (2022). 家庭科教師のカリキュラム・デザインに対する個人的生活経験の影響に関する研究. 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科 博士学位請求論文.
7. 瀬川朗・長拓実. (印刷中). 小学校家庭科の布を用いた製作題材における技術の検討 —検定教科書の通時的分析から—. 鹿児島大学教育学部研究紀要 教育科学編, 第74巻, pp. XX-XX.

## 学会発表

1. 瀬川朗・河村美穂. (2014). 1970年代の家庭科教育理論書にみる教育課程編成案の形成. 日本家庭科教育学会第57回大会, 2014年6月29日, 岡山大学. (日本家庭科教育学会第57回大会研究発表要旨集 pp. 74-75)
2. 瀬川朗. (2014). 「労働力再生産論」をめぐる家庭科教育論争 —1960年代における外崎光広と高知県教職員組合家庭科研究会の主張に焦点をあてて—. 教育史学会第58回大会, 2014年10月4日, 日本大学. (教育史学会第58回大会発表要綱集録 pp. 58-59)
3. 瀬川朗. (2015). 家庭科教師のライフヒストリーとカリキュラム —先行研究の分析を通じて—. 日本教師学学会第16回大会, 2015年2月28日, 日本女子大学. (日本教師学学会第16回大会要旨集 pp.14-15)
4. 瀬川朗・河村美穂. (2015). 『日本家庭科教育学会誌』における教師研究の展開 —家庭科教師に関する調査研究を中心に—. 日本家庭科教育学会第58回大会, 2015年6月28日, 鳴門教育大学. (日本家庭科教育学会第58回大会研究発表要旨集 pp. 112-113)
5. 瀬川朗. (2015). 高等学校家庭科における科目「家庭一般」の成立過程と山本キクの役割. 教育史学会第59回大会, 2015年9月27日, 宮城教育大学. (教育史学会第59回大会発表要綱集録 pp. 128-129)
6. 瀬川朗. (2015). 「大学家庭科教育研究会のいままでとこれから 5」(ゲストスピーカー) —初期の大家研における家庭科教育史研究に学ぶ—. 大学家庭科教育研究会第162回例会, 2015年12月12日, 東京学芸大学.
7. 瀬川朗・河村美穂. (2016). カリキュラム開発者としての家庭科教師像の変遷 —家庭科教師に求められる資質・能力に関する言説から—. 日本教師学学会第17回大会, 2016年3月6日, 奈良学園大学. (日本教師学学会第17回大会要旨集 pp. 86-87)
8. 瀬川朗. (2016). 日教組中教研家庭科部会による「中央試案」(1961年)の作成過程 —「生活」の捉え方に着目して—. 日本カリキュラム学会第27回大会, 2016年7月3日, 香川大学・香川大学教育学部附属高松小学校. (日本カリキュラム学会第27回大会発表要旨集録 pp. 173-174)
9. 瀬川朗・河村美穂. (2016). 女子向き科目「家庭一般」の成立と展開 —学習指導要領のカリキュラム構造における「生活」の位置づけ—. 日本家庭科教育学会第59回大会, 2016年7月10日, 朱鷺メッセ・新潟コンベンションセンター. (日本家庭科教育学会第59回大会研究発表要旨集 pp. 184-185)
10. 瀬川朗. (2017). 家庭科教師のカリキュラム観の形成における生活経験が与える影響—質問紙調査をもとに—. 日本教師学学会第18回大会, 2017年3月4日, 早稲田大学. (日本教師学学会第18回大会要旨集 pp. 46-47)
11. 瀬川朗・河村美穂. (2017). 家庭科教師の意図するカリキュラムと私的生活経験 —「目標」に関する記述の質的内容分析をもとに—. 日本家庭科教育学会第60回大会, 2017年6月25日, 国立オリンピック記念青少年総合センター. (日本家庭科教育学会第60回大会研究発表要旨集 pp. 110-111)
12. 若月温美・河村美穂・小清水貴子・椎谷千秋・千葉悦子・滝本浩世・仲田郁子・中村恵美子・松井洋

子・松岡文子・瀬川朗. (2017). 家庭科教師の成長に関する研究 —教職経験におけるエピファニーに焦点化して—. 日本家庭科教育学会第 60 回大会, 2017 年 6 月 25 日, 国立オリンピック記念青少年総合センター. (日本家庭科教育学会第 60 回大会研究発表要旨集 pp. 184-185)

13. *Segawa, A.* (2017). Influence of Home Economics Teachers' Personal Life Experiences on Curriculum Orientation: A Quantitative Study. Asian Regional Association for Home Economics 19th Biennial International Congress, August 7, 2017, National Olympics Memorial Youth Center, Tokyo, Japan. (Asian Regional Association for Home Economics 19th Biennial International Congress Book of Abstract, p. 30)
14. *Segawa, A. & Kawamura, M.* (2017). Exploring relationships between curriculum orientations and family life experience of home economics teachers in Japan. Association for Teacher Education in Europe 42nd Annual Conference, 23 to 25 October 2017, Dubrovnik, Croatia. (Association for Teacher Education in Europe 42nd Annual Conference Book of Abstract, p. 276)
15. 瀬川朗・宮野尚. (2017). 教師によるプロジェクト型カリキュラム開発の成立条件の探究. 東京学芸大学連合学校教育学研究科第 14 回研究討論会, 2017 年 12 月 9 日, 弘済会館.
16. 河村美穂・若月温美・瀬川朗. (2018). ライフヒストリーにおけるエピファニーからみる教師の成長: 家庭科教師による 9 つのライフヒストリーを用いて. 日本教師学学会第 19 回大会, 2018 年 3 月 3 日, 甲南大学. (日本教師学学会第 19 回大会要旨集 pp. 32-33)
17. 瀬川朗・河村美穂. (2018). ナラティブ・アカウントにみる教師の私的生活経験のカリキュラム・デザインへの影響. 日本教師学学会第 19 回大会, 2018 年 3 月 3 日, 甲南大学. (日本教師学学会第 19 回大会要旨集 pp. 34-35)
18. 瀬川朗・河村美穂. (2018). ナラティブ・アプローチによる家庭科教師のカリキュラム・デザインと私的生活経験の関連の検討. 日本家庭科教育学会第 61 回大会, 2018 年 7 月 7 日, 茨城大学. (日本家庭科教育学会第 61 回大会研究発表要旨集 pp. 30-31)
19. 瀬川朗・田島諒子・佐々木敏. (2018). 血中 25 (OH) D 濃度と骨の健康・ビタミン D 摂取・日光曝露関連のレビュー —食事摂取基準 2020 年版策定に向けて—. 第 65 回日本栄養改善学会学術総会, 2018 年 9 月 5 日, 朱鷺メッセ・新潟コンベンションセンター. (第 65 回日本栄養改善学会学術総会講演要旨集 p. 212)
20. 瀬川朗・河村美穂. (2019). 家庭科教師の自伝的ナラティブにおける職業生活経験と個人的生活経験. 日本家庭科教育学会第 62 回大会, 2019 年 6 月 30 日, 金城学院大学. (日本家庭科教育学会第 62 回大会研究発表要旨集 pp. 64-65)
21. *Segawa, A.* (2019). A Mixed Method Study on Home Economics Teachers' Beliefs about Curriculum Design. Association for Teacher Education in Europe 44th Annual Conference, 13 to 16 August 2019, Bath Spa University, Bath, UK. (Association for Teacher Education in Europe 44th Annual Conference Book of Abstract, p. 109) .
22. *Segawa, A.* (2019). Experienced Teachers' Knowledge and Skills for Teaching Home Economics: Focusing on the Acceptance of Learner-centered Orientation. International Conference on

'WAZA' : Craft Knowledge and Skills in Teaching & Nursing, 9 to 10 November 2019, Waseda University, Tokyo, Japan. (Abstract Book of International Conference "How People Learn 'WAZA' : From the Educational Field of Teaching and Nursing," pp. 18-19)

23. 瀬川朗. (2021). 家庭科教師のカリキュラム・デザインに個人的生活経験はどのように影響するか—ライフストーリー・インタビューの質的分析に基づく考察—. 日本教師学学会第 22 回大会, 2021 年 3 月 14 日, オンライン開催. (日本教師学学会第 22 回大会要旨集 pp. 75-76)
24. 瀬川朗. (2022). カリキュラム・デザインと個人的生活経験の関係—家庭科教師に対する量的・質的調査から—. 日本教師学学会第 23 回大会, 2022 年 3 月 6 日, オンライン開催. (日本教師学学会第 23 回大会要旨集 pp. 78-79)
25. 瀬川朗. (2022). 家庭科教師のカリキュラム・デザインに対する個人的生活経験の影響に関する研究. 生活科学系コンソーシアム主催 第 13 回博士課程論文発表会, 2022 年 3 月 21 日, オンライン開催. (第 13 回生活科学系 博士課程論文発表会要旨集 pp. 24-25)
26. 瀬川朗・村田晋太郎. (2022). 中学校家庭科教員のキャリア継続意識に関する試行的考察：質問紙調査票の作成. 日本家庭科教育学会第 65 回大会, 2022 年 7 月 3 日, オンライン開催. (日本家庭科教育学会第 65 回大会研究発表要旨集 p. 48)
27. 瀬川朗・春田真綺. (2022). 女性教員の管理職志向と離職意思：家庭科教員の特徴に着目した二次分析. 日本家庭科教育学会九州地区会第 24 回研究発表会, 2022 年 7 月 23 日, オンライン開催. (日本家庭科教育学会九州地区会第 24 回研究発表会要旨集 p. 2)
28. 瀬川朗. (2022). 家庭科教員養成における授業デザインの力量形成 (研究報告 14). 大学家庭科教育研究会第 174 回例会, 2022 年 9 月 17 日, オンライン開催.
29. 瀬川朗・中馬百香. (2023). 魚食普及活動におけるゲストティーチャーと学校園との連携における課題. 日本教師学学会第 24 回大会, 2023 年 3 月 18 日, 日本赤十字広島看護大学. (日本教師学学会第 24 回大会要旨集 pp. 15-16)
30. *Segawa, A. & Murata, S.* (2023). Turnover Intentions of Home Economics Teachers in Japan: A Quantitative Survey. Asian Regional Association for Home Economics 21st Biennial International Congress, August 11, 2023, Armada Hotel, Petaling Jaya, Selangor, Malaysia. (Asian Regional Association for Home Economics 21st Biennial International Congress Book of Abstract)

## その他

1. 菊野暁・瀬川朗. (2016). 三角形の住宅の間取りを考える (第 7 回住教育授業づくり助成 実践報告). 一般財団法人住総研 授業実施例報告書.
2. 河村美穂・小清水貴子・椎谷千秋・千葉悦子・滝本浩世・仲田郁子・中村恵美子・松井洋子・松岡文子・若月温美・秋谷博子・瀬川朗 (家庭科の授業を創る会). (2016). 2015, 2016 年度研究助成

グループ研究計画「ライフストーリーでたどる家庭科教師の成長」. 日本家庭科教育学会関東地区会報, No. 33, p. 10.

3. 瀬川朗. (2016). 「大学家庭科教育研究会のいままでとこれから 5」—初期の大家研における家庭科教育史研究に学ぶ—. 大学家庭科教育研究会会報 通巻 132 号 pp. 4-7.
4. 瀬川朗. (2017). 教師のライフストーリー研究. 家庭科の授業を創る会編『9つのライフストーリーにみる家庭科教師のくらしとキャリア』. pp. 8-9.
5. 瀬川朗. (2017). 教師による自伝的ライフストーリー. 「家庭科の授業を創る会編『9つのライフストーリーにみる家庭科教師のくらしとキャリア』」. pp. 18-21.
6. 河村美穂・小清水貴子・椎谷千秋・千葉悦子・滝本浩世・仲田郁子・中村恵美子・松井洋子・松岡文子・若月温美・秋谷博子・瀬川朗 (家庭科の授業を創る会). (2017). 2015, 2016 年度研究助成グループ中間研究報告「ライフストーリーでたどる家庭科教師の成長」. 日本家庭科教育学会関東地区会報, No. 34, p. 10.
7. 瀬川朗. (2018). 新刊紹介『楽しもう家政学—あなたの生活に寄り添う身近な学問』. 日本家庭科教育学会誌, 第 60 巻第 4 号, p. 214.
8. 河村美穂・小清水貴子・椎谷千秋・千葉悦子・滝本浩世・仲田郁子・中村恵美子・松井洋子・松岡文子・若月温美・秋谷博子・瀬川朗 (家庭科の授業を創る会). (2018). 2015, 2016 年度研究助成グループ成果報告「ライフストーリーでたどる家庭科教師の成長」. 日本家庭科教育学会関東地区会報, No. 35, p. 7.
9. 足立奈緒子・白井正美・瀬川朗・田島諒子. (2018). 骨の健康状態と血中ビタミン D 濃度の関連および, ビタミン D 摂取量・日光曝露量と血中ビタミン D 濃度の関連. 日本人の食事摂取基準 (2020 年版) の策定に資する代謝性疾患の栄養評価並びに各栄養素等の最新知見の評価に関する研究 平成 29 年度総括・分担研究報告書 (研究代表者・佐々木敏), pp. 167-202.
10. 河村美穂・小清水貴子・椎谷千秋・千葉悦子・滝本浩世・仲田郁子・中村恵美子・松井洋子・松岡文子・若月温美・瀬川朗 (家庭科の授業を創る会). (2019). 2017, 2018 年度研究助成グループ成果報告「子どもたちの『主体的で深い学び』を支える家庭科教師のリフレクション—授業経験の振り返りから家庭科の授業を考える (ワークショップ形式で) —」. 日本家庭科教育学会関東地区会報, No. 36, p. 8.
11. 瀬川朗. (2022). 令和 3 年度 博士論文要旨 (家庭科教育関係) 家庭科教師のカリキュラム・デザインに対する個人的生活経験の影響に関する研究. 日本家庭科教育学会誌, 第 65 巻第 2 号, p. 107.
12. 瀬川朗. (2022). 家庭科教員養成における授業デザインの力量形成 (研究報告 14). 大学家庭科教育研究会会報 通巻 148 号 pp. 2-4.

(2023 年 4 月作成)